

# 日本情報考古学会会報 No. 28

2012（平成 24）年 1 月

NEWSLETTER OF THE JAPAN SOCIETY FOR ARCHAEOLOGICAL INFORMATION NO.28 Jan. 2012

## 日本情報考古学会第 29 回大会のご案内

日本情報考古学会第 29 回大会は、龍谷大学大宮キャンパス（京都市下京区七条通大宮東入大工町）で開催いたします。2011 年 3 月に行われた第 28 回大会では「考古学研究におけるデジタルデータ活用への扉（データの取得・蓄積・統合・解析・活用）」というテーマで開催しましたが、研究の素材である記録自体のデジタル化と活用に関連した講演と発表が行われ、参加者全員が大いに刺激を受けることができました。次回予定の第 29 回大会では引き続き考古学資料のデジタル化について取り扱い、「考古学における遺跡調査報告書再考—遺跡調査報告書の保管・公開・デジタル化—（仮題）」と題し、最近話題の遺跡資料リポジトリに関連し、最前線で活躍されている先生方をお招きして特別講演を開催する予定です。特に機関リポジトリの一環として行われている遺跡資料リポジトリ・プロジェクトでは、全国の大学図書館や自治体文化財担当部署・関連機関と連携・協力し、遺跡調査報告書のデジタル化と公開・活用に取り組んでいる最中で、これまでの考古学研究に今まさに大きな変化と潮流が押し寄せてきています。日本考古学協会蔵書問題を取り上げるまでもなく、考古学情報のデジタル化という大局的視点から今日的な問題について話題を提供いたします。

これにともない、これまで通り“情報考古学”の一般講演を中心に大会を進めてまいります。学会員の皆様からのご参加・ご発表を心よりお待ちしておりますので、奮ってご応募いただきますようお願い申し上げます。

なお、会場となります龍谷大学大宮キャンパス最寄駅（京都駅）周辺宿泊情報につきましてはネット

での検索をお勧めいたします。遠方よりご参加で宿泊が必要な皆様は、お手数ですが各自でホテル等の手配をお願いいたします。京都駅から徒歩約 10 分、市バスで約 5 分と立地に恵まれておりますので、ネット検索でも多数候補が上がるとは思いますが、初春の観光地でもありますので、早めの予約をお勧めいたします。

### <開催日程、概要など>

【開催日】2012 年 3 月 24 日（土）、25 日（日）

【会場】龍谷大学大宮キャンパス内 北翼 2 階・202 室（注：北翼は重要文化財で、飲食できません）〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町 125 番地の 1

「京都」駅から西北へ徒歩約 10 分：詳細は龍谷大学 HP>キャンパス案内>アクセス>大宮キャンパス

（[http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus\\_traffic/traffic/t\\_omiya.html](http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_omiya.html)）

大宮キャンパス紹介（<http://www.ryukoku.ac.jp/omiya.html>）

### 【日 程】

3 月 24 日（土）／一般講演（13:00 開始）、特別講演①（17:00～18:00）、懇親会（18:00～20:00）

3 月 25 日（日）／一般講演（10:00 開始）、特別講演②（13:00～14:00）、閉会予定 14:30

### 【特別講演スケジュール】

特別講演① 3/24（土）17:00～18:00

昌子喜信（島根大学付属図書館）「遺跡資料リポジトリ—現状と課題—」

特別講演② 3/25（日）13:00～14:00

森本和男（千葉県教育振興財団）「情報社会と報告書問題（仮題）」

【懇親会】3月24日(土) 18:00~20:00

龍谷大学大宮キャンパス内 清和館

【懇親会費】3,000円

【第29回大会実行委員長】龍谷大学 理工学部  
機械システム工学科 河嶋壽一

kawasima@rins.ryukoku.ac.jp

### <第29回大会一般講演の募集について>

学会員の多くの皆様からの一般講演のご応募をお待ちしています。なお、お申し込みいただいた内容につきましては、事務局ならびに大会実行委員、理事会などを通じて査読を実施いたします。採否の結果は改めてご連絡いたしますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

一般講演にご応募いただく場合は、同封の「大会申し込みフォーム」にご記入の上、査読用原稿とともに学会事務局へお送りください。査読用原稿の作成に際しては、同封いたしました「執筆要項」をご参照ください。査読用原稿の受領をもちまして、研究発表への申し込みとさせていただきます。

なお、

- ・講演時間は1件当たり20分~30分を予定しております(講演件数によって変わります)。
- ・講演論文集原稿はA4判で6~8枚程度です。原稿の枚数を厳守の上、偶数ページに収まるよう作成してください。
- ・講演論文集原稿には、必ず600字程度の要旨を付けてください。この要旨は、学会論文誌『情報考古学』に大会報告として掲載されますので、あらかじめご了承ください。
- ・原稿は直接写真製版いたしますので、校正の機会はありません。また原稿は原則として返却いたしませんので、予めコピーを保存してください。
- ・発表者に一人以上の会員が含まれることが応募の条件となります。

### 【一般講演申込先】

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3

同志社大学文化情報学部

情報考古学会事務局

Tel : 0774-65-7681 Fax : 0774-65-7681

E-mail : murakami.lab1@gmail.com

なお、

一般講演の申込締め切り : 2012年2月11日(土)

講演論文原稿の締め切り : 2012年3月3日(土)です。

【キャンパスアクセスマップ】(龍谷大学HPから抜粋)



- ・「京都」駅から徒歩約10分
- ・「京都」駅から市バス約5分
- ・京阪「四条」駅から淀屋橋方面へ「七条」駅下車、徒歩約20分
- ・阪急「河原町」駅から梅田方面へ「大宮」駅下車、徒歩約20分
- ・阪急「河原町」駅から梅田方面へ「大宮」駅下車、市バス約5分



2012年度 会費納入のお願い

2012年度の学会費(会員5000円、学生会員3000

円)の納入をお願いする時期になりました。安定した学会運営を行うために会員の皆様のご協力をお願い致します。また会員数の増加も緊急の課題です。会員数倍増に向けご協力をお願い致します。

なお、会費の納入は郵便局(同封の振込用紙をご利用ください)か、下記銀行口座に振込願います。銀行振込口座は以下の通りです。

銀行名	南都銀行	京田辺支店
普通口座	0301986	
口座名	日本情報考古学会事務局	

## 日本情報考古学会第28回大会報告

平成23年3月5日(土)・6日(日)の二日間、共立女子大学(神田一ツ橋キャンパス)において第28回大会を開催いたしました。大会では2件の特別講演と9件の発表がありました。

### < 第1日目 3月5日(土) >

#### 研究発表1 13:10-13:40

鉛同位体比による青銅器製作の過程の推測(2)  
吉田知行(北海道大学)

#### 研究発表2 13:40-14:10

埴輪の胎土分析でどんな考古情報が得られるか  
三辻利一(鹿児島国際大学)・犬木 努(大阪大谷大学)・近藤麻美(大阪国際大谷大学)

#### 研究発表3 14:10-14:40

版木の損傷文字の3次元デジタル復元の試み  
河嶋壽一(龍谷大学)・川口祐貴(龍谷大学)

#### 研究発表4 14:50-15:20

博物館のパノラマ撮影とインターネットの活用  
森本和男(千葉県立上総博物館)

#### 研究発表5 15:20-15:50

発掘調査報告書の電子化  
—報告書の過去・現在・未来—  
及川昭文(総合研究大学院大学)

#### 特別講演 16:00-17:00

再現・江戸の景観—広重・北斎に描かれた江戸、

描かれなかった江戸—

清水英範(東京大学)

### < 第2日目 3月6日(日) >

#### 研究発表6 9:10-9:40

神社誌と科学の融和

石井 好(東京都立産業技術高等専門学校)

#### 研究発表7 9:40-10:10

卑弥呼の墓は平原1号墓か?

天神七代・地神五代の神々の故郷は伊都国

石井 好(東京都立産業技術高等専門学校)

#### 研究発表8 10:10-10:40

渋谷向山古墳の築造企画の再検討

西村 淳(函館大学)

#### 研究発表9 10:50-11:20

瀬戸内海沿岸における「海辺の首長墓・後背地の首長墓」データベースの作成  
魚津知克(大手前大学)・福井 亘(京都府立大学)・山本 亮(京都大学大学院)・阿児雄之(東京工業大学百年記念館)

#### 特別講演 11:20-12:20

GISを利用した土地改変履歴の観察と遺跡分布調査への応用  
木口裕史(株式会社パスコ)

## 2011年度日本情報考古学会シンポジウム報告

9月10日(土)に東京駅に程近い同志社大学東京サテライト教室(千代田区大手町日本ビルディング5階)で、「考古学研究における3D技術の応用と課題」と題して2011年度の日本情報考古学会シンポジウムを開催いたしました。プログラムは以下の通りです。

- 1)「考古資料の形情報を可視化する技術」  
千葉 史(株式会社ラング)
- 2)「エジプト、ギザにおける3D計測の調査事例と課題」  
河江肖剰(名古屋大学大学院)
- 3)「水中考古学と3D測量技術」  
Randall Sasaki(テキサスA&M大学大学院博士)

課程)

4) 「3D バーチャルワールドの活用と課題」

廣田吉三郎 (創和システム)

5) パネルディスカッション「考古学研究における 3D 技術の応用と課題」

司会：佐藤宏介 (大阪大学 大学院基礎工学研究科)、パネラー：発表者 4 名



日ごろの研究成果について、各パネラーの皆さんの研究に対する情熱が伝わる発表が行われた。パネルディスカッションでは会場から興味深い質問が寄せられ、熱のこもった質疑応答が行われた。思いのほか沢山の質問があり、盛況のうちに閉会の時間となった。参加者は 41 名でした。

### 2010 年度学会賞受賞者について

2010 年度の日本情報考古学会賞は次の方に決まり、3 月 5 日開催の第 28 回大会 (共立女子大学) において授賞式が行われました。

#### <日本情報学会堅田賞 (優秀賞)>

庄 政典 (リョービスシステムサービス) 「3D CAD

を用いた鬼ノ城景観図の作成」、情報考古学、Vol.16 No.1, 2010, pp.1-8.

なお、日本情報考古学会賞、日本情報学会論文賞については該当者はありませんでした。

### 学会誌編集委員会からのお知らせ

編集委員会では、会員の皆様への迅速な研究成果等の提供、研究成果の幅広い発信、ならびに、会員の皆様の利便性の向上を目指しまして、学会誌『情報考古学』の電子化に取り組んでいます。この一環として、『情報考古学』や『大会論文集』にご投稿いただいた著者の方々やこれからご投稿いただく方々からは、論文の著作権を学会にお譲りいただきたいと考えています。本件に関しましては、総会、会報やホームページでお願いすることになると思いますが、学会の発展のために、ぜひご理解とご協力を賜りたいと考えています。また、学会誌の電子化に関しまして、ご意見・ご要望等がございましたら、編集委員会もしくは学会事務局まで電子メールでお願いいたします。

なお、これまでと同様に、『情報考古学』への会員の皆様からの活発なご投稿もよろしく願いたします。

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所街道町  
京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 情報工学部門

宝珍輝尚 (学会誌編集委員会委員長)

E-mail: hochin@kit.ac.jp

Tel: 075-724-7634 Fax: 075-724-7400

日本情報考古学会会報 No.28

2012年1月10日

発行 日本情報考古学会事務局

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3

同志社大学文化情報学部 情報考古学会事務局

Tel/Fax 0774-65-7681

E-mail: [murakami.lab1@gmail.com](mailto:murakami.lab1@gmail.com)

# 日本情報考古学会大会申し込みフォーム

申込先 〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3 同志社大学文化情報学部 日本情報考古学会事務局 宛

TEL & FAX 0774-65-7681

E-mail: [mamuraka@mail.doshisha.ac.jp](mailto:mamuraka@mail.doshisha.ac.jp)

発表者氏名(英語表記併記) <small>(複数の場合は全員)</small>	
発表者所属(英語表記併記) <small>(複数の場合は全員)</small>	
講演題目	
講演題目(英語)	
連絡先住所	
連絡先住所(英語)	
TEL/FAX	講演に使用する機器
発表要旨	
発表要旨(英文)	

## 一般講演発表原稿執筆要項

－副題がある場合はゴシック体で（本文と同じ大きさで）－

日本情報考古学会事務局，○○○○，△△△△。

第1著者 連絡先 電話番号 E-mail アドレスほか

Abstract: 日本語 600 文字程度で

Keyword: 5つ程度で、 考古学 情報科学 前方後円墳 土器 文化財

## 2 文字アケ

## 1. はじめに （タイトルはゴシック体で）

## 1.1 情報考古学会とは

情報考古学会ダミーですダミーですダミーです情報考古学会ダミーです。ダミーです，ダミーです，情報考古学会、ダミーです，ダミーです。考古学におけるデータ分析とは情報考古学の情報ダミーです、考古学におけるデータ分析とは情報考古学の情報ダミーですダミーです。

考古学におけるデータ分析とは情報考古学の情報ダミーです、考古学におけるデータ分析とは情報考古学の情報ダミーです。情報考古学会、ダミーです，ダミーですダミーです，情報考古学会、ダミーですダミーですダミーです，情報考古学会、ダミーです。情報考古学会情報考古学会ダミーですダミーです。

## 1.2 考古学におけるデータ分析とは

考古学におけるデータ分析とは情報考古学の情報ダミーです、考古学におけるデータ分析とは情報考古学の情報ダミーです。考古学におけるデータ分析とは情報考古学の情報ダミーです、考古学におけるデータ分析とは情報考古学の情報ダミーです。

考古学におけるデータ分析とは情報考古学の情報ダミーです、考古学におけるデータ分析とは情報考古学の情報ダミーです。考古学におけるデータ分析とは情報考古学の情報ダミーです、考古学におけるデータ分析とは情報考古学の情報ダミーです。考古学におけるデータ分析とは情報考古学の情報ダミーです、考古学におけるデータ分析とは情報考古学の情報ダミーです。

考古学におけるデータ分析とは情報考古学情報ダミーです、考古学におけるデータ分析とは情報考古学の情報ダミーです。考古学におけるデータ分析とは情報考古学情報ダミーです

表1 考古学情報、

発掘地点 地点 地点 地点 地点 地点  
A B C D E

発掘地点	地点 A	地点 B	地点 C	地点 D	地点 E
地点 A	—				
地点 B	87	—			
地点 C	64	56	—		
地点 D	37	32	91	—	
地点 E	93	35	54	43	—